

平成 30 年度

市長と語ろう会 実施報告書

「若者ととともに考える地方創生」

令和元年 6 月

総務部市長公室広聴広報課

はじめに

「市長と語ろう会」は、平成 28 年 12 月に策定した「高知市広聴広報戦略プラン」に基づき、本市の広聴機能の充実に向け、市の重要施策や事業について、市民の皆様が要望・提案等ができる機会を拡充し、市政に対する関心や理解度の向上を図るとともに、市民とのコミュニケーションの中で、各地域や世代・職業等による個別課題を共有し、市民の皆様と行政の協働によるまちづくりを推進していくことを目的として事業化したものです。

平成 30 年度は、「若者ととともに考える地方創生」をテーマに開催いたしました。高齢化が進み、人口の自然減や若者の県外転出が進んでいる現在の高知において、人口減少を食い止めるためには、若者の率直な意見を参考にすることが重要であると考えたためです。

「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」による地方創生を進めていくなかで、市内の大学生・高校生のみなさんと「ずっと高知で暮らす」「高知にまた帰ってくる」ための意見交換を行うことで、若者の目線からの意見やアイデアを取り入れながら、学生のみから見た高知の良さを把握する機会とするとともに、今後の人口減少への取組に活用し、あわせて、学生自身にも高知の魅力を再発見してもらおう機会とすることも狙いとしていました。

開催は高知大学、高知県立大学、高知商業高校、高知学園短期大学の 4 会場で行い、のべ 116 人の学生・生徒にご参加いただきました。

開催にあたっては各校の意向をお聞きしながら、それぞれ、グループトーク方式、ワークショップ方式、プレゼン方式など実施の形式を変えながら、学生生徒の皆さんが意見を気軽に言いやすい雰囲気を作りました。また、参加人数も各校 20～40 人に設定し、できる限りすべての参加者が市長と直接話す時間を作りました。

1 平成 30 年度市長と語ろう会開催概要

(1) 開催テーマ

「若者とともに考える地方創生」

(2) 開催日程・対象及び参加者数

| 開催日 | 対象 (開催場所) | 参加者数 |
|--------------------------------------|------------------------------|-------|
| 平成 30 年 10 月 31 日 (水) 15:00～17:00 | 高知大学学生 (高知大学朝倉キャンパス) | 24 人 |
| 平成 30 年 12 月 1 日 (土) 9:30～11:30 | 高知県立大学学生 (高知県立大学永国寺キャンパス) | 40 人 |
| 平成 31 年 1 月 12 日 (土) 9:30～11:30 | 高知商業高校生徒 (オーテピアホール) | 27 人 |
| 平成 31 年 2 月 25 日 (月) 14:00～16:00 | 高知学園短期大学学生 (高知学園短期大学) | 25 人 |
| 合計 | | 116 人 |

(3) 高知市からの参加者

岡崎 誠也 高知市長

吉岡 章 高知市副市長

中澤 慎二 高知市副市長

大野 正貴 高知市総務部長

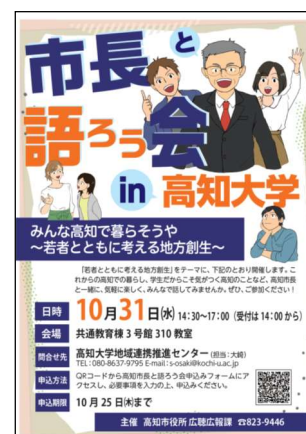
(4) 当日の流れ

| 会場名 | 主な実施内容 |
|--------|--|
| 高知大学 | 岡崎市長から高知市の地方創生の取り組みを説明 ⇒参加学生を 3 グループに分け、25 分ごとにローテーションしながら岡崎市長、吉岡副市長、大野総務部長とグループトークを実施 ⇒学生、玉里地域協働部教授から感想 ⇒岡崎市長、吉岡副市長、大野総務部長から感想 |
| 高知県立大学 | 岡崎市長から高知市の地方創生の取り組みを説明 ⇒参加学生を 7 テーブルに分け、市若手職員が各テーブルのファシリテーター役を務め、ワークショップを実施 ⇒岡崎市長、中澤副市長、大野総務部長は各テーブルを回りながら質問やアドバイスを実施 ⇒各テーブルから、まとめ意見を発表 ⇒発表された意見の中から、岡崎市長、中澤副市長、大野総務部長それぞれの「イチオシ」を発表 |

| | |
|----------|---|
| | ⇒学生，清原教授から感想 ⇒岡崎市長から講評 |
| 高知商業高校 | 高知商業高校地方創生プロジェクトメンバーによる「移住・定住について」の提案発表 ⇒岡崎市長，吉岡副市長から感想 ⇒高知商業高校地方創生プロジェクトメンバーによる「中心市街地活性化について」の提案発表 ⇒岡崎市長，中澤副市長から感想 ⇒生徒を3グループに分け，岡崎市長，吉岡副市長，中澤副市長とグループトークを実施 ⇒生徒，岡崎校長から感想 ⇒岡崎市長，吉岡副市長，中澤副市長から感想 |
| 高知学園短期大学 | 岡崎市長から高知市の地方創生の取り組みを説明 ⇒参加学生を3グループに分け，20分ごとにローテーションしながら岡崎市長，吉岡副市長，中澤副市長とグループトークを実施 ⇒学生，二宮キャリアセンター長から感想 ⇒岡崎市長，吉岡副市長，中澤副市長から感想 |

(5) 開催広報

各校にご協力いただき，それぞれのルートで開催広報を実施。チラシ配布やポスター掲示，学内クラウドの利用などにより参加者募集を行いました。



2 「市長と語ろう会」における市長説明の概要

高知商業高校を除く各会場で，岡崎市長から以下の項目について，各校の特徴に合わせた情報を織り込みながら説明を行いました。 ※高知商業は平成30年5月の創立120周年記念講演で説明

(1) 地方創生とは

- 人口減少の負のスパイラルから抜け出す
- 一定数の人口維持と高知市の成長力の確保を目指す

(2) 高知市の概要

- 高知市の概要

(3) 高知市の将来人口

- 将来人口の推計
- 人口の動き（出生と死亡）
- 人口の動き（転出と転入）
- 高校生・大学生の進学先，就職先など



(4) 高知市の取り組み

- 地産外商，観光振興等による産業活性化と安定した雇用の創出
- 新しい人の流れをつくる
- 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現する，女性の活躍の場を拡大する
- バランスの取れた県都のまちづくりと地域間の連携により安心な暮らしを守る

(5) 高知県・高知市の将来人口

- 2060年の目標人口

3 学生・生徒の皆さんからの主な意見，提案

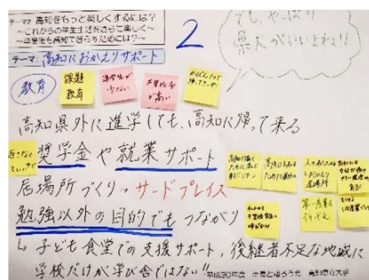
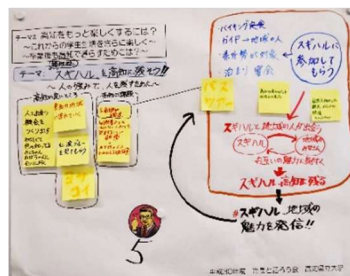
| 会場 | 意見・提案 |
|------|---|
| 高知大学 | <p>【グループトーク】</p> <p>テーマ：①市長に聞きたいこと ②ライフスタイル ③高知の魅力</p> <ul style="list-style-type: none">○仁淀川・鏡川など川がきれい。綺麗なので観光資源になる○学生からアイデアが出せる場があればいい○外国人対応ができる「キャッシュレス化」を進めてはどうか○中小企業を中心とした面談会の機会をふやしていく○婚活は学生も支援すべき。彼氏が社会人なら高知で就活する○電車は市内200円で安い，バスは本数が少なく運賃高い○特有の野菜や魚を組み合わせると人気が出るのでは○よさこい祭りでお客さんにもメダルを渡せるいい <div data-bbox="496 1715 890 1980"></div> <div data-bbox="957 1711 1374 1980"></div> |

【ワークショップ】

テーマ：高知をもっと楽しくするには

[提案発表]

- 交流強化で地域を元気に!!
…市民が集まり交流する場の創造
- 高知におかえりサポート
…Uターン・Jターン促進のための方策
- よさこいを通じて高知を盛り上げよう!!
…よさこい祭りを通じたさらなる振興策
- 戻りたくなる高知
…観光客を対象としたリピーター確保策
- 福井生まれ“スギハル”を高知に残そう!
…県大生に高知に残ってもらうために必要なものとは
- 第二の坂口さんを生み出そう
…人口流出をふせぐための高校生を対象とした取組
- Iターン・Uターンからの永住
…Iターン・Uターン人口の拡大と定着に向けて必要な対策



【地方創生プロジェクトメンバーによる提案】

テーマ：①移住・定住について

高知商業生・県内大学生へのアンケート調査結果と、フィールドワークで移住者交流会に参加した結果をもとに考えた提案をプレゼンテーション

- 高知市ならではの特別なボーナスや休暇の設定（カツオ DE ボーナス・よさこい休暇など）
- 県内大学に外国語学部や観光学科など、企業経営に直結する学部の設置
- 県外客も呼び込めるビッグなライブ会場の建設
- 県外高校生との短期交換留学の実施

テーマ：②中心市街地活性化について

高知商業生と、クルーズ客船で高知を訪れた外国人観光客へのアンケート結果をもとに考えた提案をプレゼンテーション

- 中心市街地で、県内の高校生が開発した商品を集めた販売イベントを開催
- カツオが入った「かつおやきい」をはりまや橋商店街東口やイベントに出店

【グループトーク】

テーマ：①市長に聞きたいこと

- ②これからも高知で暮らすには
- ③若者が行きたくなるまちにするには

- 空き家を、大学生向けのシェアハウスなどに活用できないか
- 移住者向けツアーに高校生が絡めないか。自分達がやっていることをPRしたい
- 松山の商店街のように、若者向けファッションブランド店を出店して欲しい
- 商店街の隠れた名店など魅力を巡るスタンプラリーや本を作ってほしい



高知学園短期
大学

【グループトーク】

テーマ：①高知市を楽しい街にするには

②高知市を健康に暮らせる街にするには

③高知市を働きやすい街にするには

- 若い人が集まるアーティストを呼べるような会場がほしい
- 県民性が出て、店員さんとコミュニケーションをとれるような楽しい商店街になればいい
- ひろめ市場の若者バージョンのような場所が欲しい。知らない人ともテーブルトークで楽しめるような場所ができれば行きたい
- パークールやスラックラインなどをできる場所が欲しい
- 栄養豊富な給食レシピを保護者に配ってみはどうか
- アーケードで無料健康診査をしてはどうか
- 歯磨きを小・中学校の時間割りに組み込んで
- 産休・育休が充実していて、子育てしやすい環境で働きたい
- 高知で働くことのできる職種・職場を増やしてほしい
- 職場体験の場を高校生の段階で多く経験したい



おわりに

参加いただいた学生・生徒の皆さんからは、「若者とともを考える地方創生」をテーマとしながらも、気軽にテーマに沿った意見が自由に言い合えるグループトーク方式や、事前のアンケートや調査に基づくプレゼンテーションによる提案、それぞれの班で意見を出し合い、一つの提案としていくワークショップ方式での提案など、テーマへのアプローチを変えることで、いろいろな、若者らしいたくさんのアイデアやご意見をいただくことができました。

全体として、参加した学生・生徒の皆さんからは、「自分の生まれた地元で暮らしたい」という思いを感じることができましたが、一生暮らしていくためには、不安や物足りなさを感じている部分があることを聞くことができました。

今回いただいたご意見やご提案は、令和2年策定の次期「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の参考とさせていただき、若者が地方に残るための方策を検討してまいります。

本市の広聴機能の充実の取組の一つとしての「市長と語ろう会」は、今後もテーマを変えながら引き続き実施し、貴重なご意見やご提案を賜ることで、市民の皆様との協働による市政運営の推進に役立ててまいります。